

「四王寺県民の森」を『ワンヘルスの森』に!!

令和4年3月15日に開かれた福岡県議会予算特別委員会で、大野城市選出の井上順吾議員（自民党県議団）は、「四王寺県民の森におけるワンヘルスの森の整備」、「森が有する健康づくりの効用」及び「ワンヘルスの実践」等について福岡県の執行部に質されました。



大野城市の名称に由来する特別史跡、大野城跡、標高 410 メートルの四王寺山の山頂一帯に気づかれた古代山城です。

今から 1355 年ほど前、朝鮮半島の百済が、唐と新羅によって滅ぼされた際に、我が国は復興の援軍を派兵しました。韓国南西部の白村江での唐の水軍と対峙しますが、壊滅的な打撃を受けてしまいます。これが教科書でも有名な 663 年の白村江の開戦です。

敗戦後、我が国は再度立ち上がり、中央集権国家を目指すのですが、唐や新羅の襲来に備えて、水城や大野城という古代山城を博多湾奥の現在地に築いたのです。

【質問 1 四王寺県民の森について】

【林業振興課長】

四王寺県民の森は大野城市、太宰府市、宇美町に跨る、広さ 342 ヘクタールの県立森林公園で、自然に関する知識の普及や健康増進を目的に設置をされています。

園内には、学習展示館のほか野外音楽堂などがあり、下の写真のように、針葉樹、広葉樹が入りまじった多様な森林が広がっています。

また、全域が特別史跡、大野城跡に指定されており、土塁や石垣、礎石後といった史跡展示もなされています。

近年、コロナの影響で利用者数は減少しておりますけど、過去 5 年平均でも年間 25 万人の方々に利用していただいています。

【質問 2 実際にワンヘルスの森として、どのような整備をするのか】

【林業振興課長】

園内にある学習展示館に、人と動物と森林の関わりなどを解説するパネルなどの展示物を整備するほか、センダンの展示林も整備をします。

また、ワンヘルスを理解してもらうために、ワンヘルスガイドを育成して、来訪した県民に対しましてワンヘルスツアーなどを実施して参ります。

特に、教育庁と連携して、社会科見学や遠足などの教育的利用や健康づくりへの利用を働きかけかけることで、ワンヘルスの森の利用を推進して参ります。



【質問3 アジア獣医師会連合大会を契機に、どのようにワンヘルスの森を紹介するのか】

【林業振興課長】

アジア獣医師会連合（FAVA）大会は、国内で唯一、ワンヘルス推進基本条例を有する本県のワンヘルスの取り組みを発信していく絶好の機会と考えています。

このため、県としては、この大会までに間に合うように整備を実施しまして、FAVA大会参加者を、ワンヘルスの森にお招きし、多様な森林浴やセンダンの植樹を体験していただこうと考えています。こうした体験を通じて、ワンヘルスの森という先進的なワンヘルスの取り組みをしっかりと国内外に発信して参ります。

【質問4 ワンヘルスの森が、四王寺県民の森の価値を最大限に生かし、ワンヘルス推進の象徴となるよう、地元の大野城市、太宰府市、宇美町と連携を密にし、一過性の取り組みとならないように、ワンヘルスの実践をしていただきたいと思いますが・・・】

【農林水産部長】

歴史的にも重要な場所である四王寺県民の森は、豊かな自然が広がり、多様な野生生物も生息するなど、ワンヘルスを象徴する場として、格好の森林公園です。

県としては、多くの県民の皆さんにワンヘルスの森に訪れ、人と動物の健康と環境の健全性は一つ、ということを実感していただきたいと考えています。

このため、地元市町とも緊密に連携して、着実に整備を進めるとともに、ワンヘルスの森のさらなる充実に向けた施設整備などの検討も行いながら、ワンヘルスを象徴する森となるよう、計画的に取り組んで参ります。

2022年3月26日

福岡ワンヘルス協議会・事務局